

いがまち図書館だより【2024年夏号】

青い空に照り付ける太陽の下、木陰を探して過ごしたくなるような季節になりました。元気が満ち溢れている中、木陰でゆっくりと涼みながら読んで頂けるような本をご紹介します。

● NEW BOOK ●

『トゲトゲ』 はしもとみお//著 2023 E/ハ

どうぶつ達に体のトゲを分けていくことで、トゲトゲはどう変わっていくのでしょうか？出会いを通じて優しさや温もりを感じられる絵本になっています。彫刻家でもあり動物をテーマにした作品が魅力的な著者は三重県在住の方です。

『スマホ脳・脳過労からあなたを救う 脳のゴミを洗い流す「熟睡習慣」』 奥村歩//著 2023 498.3/オ

世界で活躍するスポーツ選手の多くが「睡眠」の大切さを話されているように、睡眠で得られる脳と体への影響が昨今とても重要視されています。脳のプロがスマホ依存による脳への負担なども含め分かりやすく解説されています。

●○○ 夏におすすめの本 ●○○

『おしゃべりくらげ』

あまんきみこ//作、みずうちさとみ//絵 ブルーベル館
2020 E/ミ

釣り好きなおじさんとちいさなくらげの物語。2人の奇妙な出会いから小さなくらげの成長だけでなく、お母さんやおじさんの愛情を感じることでできる温かみのある絵本です。また、繊細な刺繍や色彩を用いた絵からは他の本とは違ったやわらかな印象を受け取ることができるでしょう。



『トイレのピエタ』

松永大司//著 2015 文藝春秋 913.6/マ

残された命と最後になるであろう夏に出会ったひとりの少女。その出会いから人生に希望とは違った何かを求めて生きていく姿は、ただのラブストーリーに留まらない心の奥に響く物語になっています。この小説は、手塚治虫が亡くなる前の病床で書いていた日記が原案となっています。



『いいね!』

筒井ともみ//作、ヨシタケシンスケ//絵 あすなる書房
2018 913/ツ

イヤだな、最悪だなんて思うことでも、少し違った考えをすることで「いいね!」って思えたらステキですよ。目次からクスッと笑ってしまう20の短編集はとても読みやすく、子どもには色々な考え方があると学べ、大人の方が読むと懐かしさも感じることのできる内容になっています。



『ねこのほそみち—春夏秋冬にやー』

堀本 裕樹/ねこまき(ミュージックワーク)//著 さくら舎
2016 911.3/ホ

俳句というと難しく感じる人もいるのではないのでしょうか。猫と季語を合わせて、日常のあるある話を分かりやすく、かつ親しみやすい内容になっており、ほっこりとした気持ちで読める本です。また、俳句の解説も挿絵と共に読めるので、俳句の魅力を身近に感じることができるでしょう。



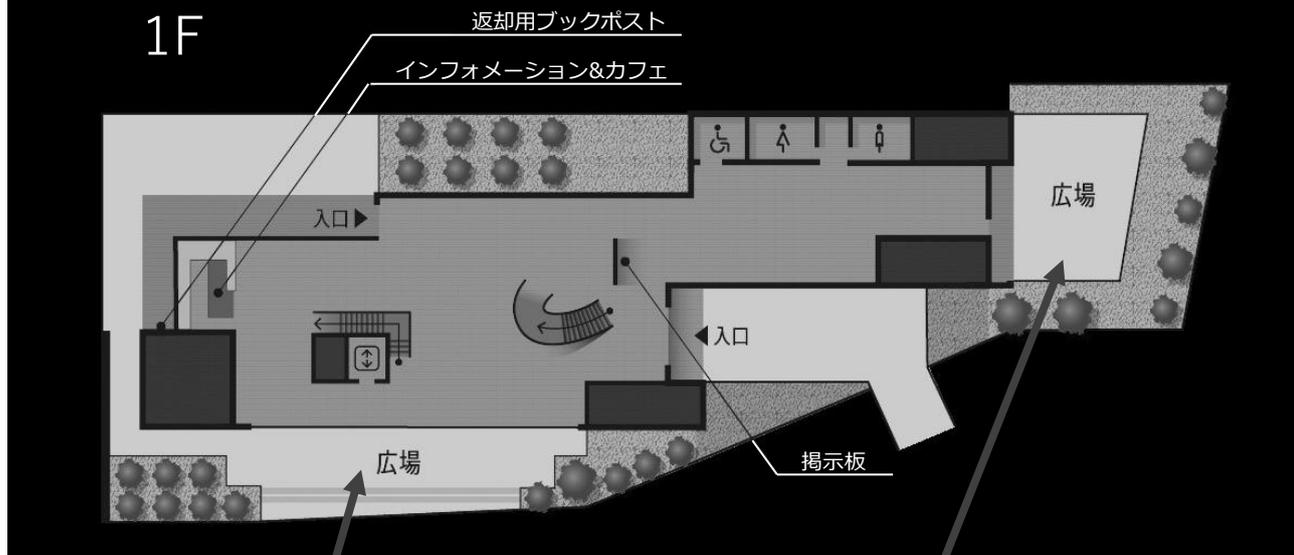
● 夏のよみきかせ ●

日時：2024年8月8日(木)18:00～

場所：BOOKMARK STORAGE 東側芝生テラス ※雨天時は館内にて行います

その他詳細は別途チラシなどでお知らせします

BOOKMARK STORAGE 館内マップ



お天気の良い日には外で読書もできます。
※季節や天候によりテラス席の数を変更しています。

ご利用にあたって

1. 携帯電話はマナーモードに設定し、館内での通話をご遠慮ください。動画や音楽の視聴はヘッドホン(イヤホン)を使用してください。
2. テラスも含め、館内での食事、席取りをご遠慮ください。書籍や展示物を誤って破損、汚損してしまった場合はスタッフにお知らせください。

BOOKMARK STORAGE いがまち図書室

TEL 070-2242-3671

〒519-1416 伊賀市新堂313-19

営業時間 9:00~21:00 年末年始(12/29~1/3)を除き、無休